

【I】学習拠点としての公民館（大項目）

1. 公民館事業の充実（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育など、各年代のライフスタイルに沿った講座を実施します。	家庭教育の向上に資する講座等を実施しているか。	昨年度から引き続き、乳幼児と親、小学生と保護者の親子体験講座を2講座実施した。 受講者数：延べ83人	乳幼児講座では、短い期間に子どもたちが社会性を身に付ける力には目を見張るものがあつた。親子講座（電気教室）は、男の子や父親の参加が多かつた。今後はアンケートの結果を参考に企画していきたい。	
	青少年教育に関する講座等を実施しているか。	昨年度の1講座から3講座に増やして実施した。未来アカデミアは、小山高専と自治医科大学を会場に専門的分野の学習を体験した。 受講者数：延べ123人	未来アカデミアは、普段は決して入ることのない場所で未知の体験をしたことは、子供時代の貴重な経験になつたと思う。図書と連携して実施した講座があり、図書をやり取りできる仕組みは、今後もっと他の講座にも取り入れていきたい。	
	成人教育に関する講座等を実施しているか。	まちづくり入門講座1、成人講座9の計10講座を実施した。世代間を超えた講座にしたため、セカンドステージ支援講座は企画しなかつた。 受講者数：延べ747人 内訳 まちづくり入門 延 50人 成人 延 697人	趣味の講座や外部で見聞を広めるような講座は人気が高い。受講生が自主的に学習や体験を継続してできるよう、働きかけていきたい。	
	高齢者教育に関する講座を実施しているか。	1講座「ゆうがお大学吉田教室」を実施した。全9回それぞれにテーマが異なり、多彩な学びが繰り広げられた。 受講者数：延べ164人	リピーター率の高い講座であるが、新規の受講者を呼び込むような企画を心がけた。また、マンネリ化することなく、常に新しいテーマを模索していきたい。	
	趣味・教養に関する講座等を実施しているか。	主に成人講座で実施している。趣味の講座は、ミュージックベル、ピオニーペイント、しの笛、スケッチ、陶芸、パン作りなどを実施し、教養講座は、学びの芽、楽学ゼミ、東の飛鳥を実施した。	いろいろなテーマ・題材を検討し、講座を企画している。受講生のニーズに合った講座を実施できるよう、更なる検討を重ねていきたい。	
	イ 地域の活性化を図り地域の輪を広げるため、まちづくりの担い手や様々なボランティアの養成を目的とした講座を実施します。	地域づくりのための課題を把握し、講座等に活かしているか。	公民館に眠っていた楽器ミュージックベルを掘り起こし、講師を探し当て、「響け！ミュージックベル」を開催し、地域づくりとなるグループの養成を図つた。	趣味とボランティアを意識した講座であつた。ボランティアサークルには至らなかつたが、地域づくり・ボランティア意識の啓発になつた。
ボランティア養成に関する講座等の実施。また、ボランティア活動の場として提供しているか。		公民館に眠っていた楽器ミュージックベルを掘り起こし、講師を探し当て「響け！ミュージックベル」を開催し、ボランティアグループの養成を図つた。	趣味とボランティアを意識した講座であつた。ボランティアサークルには至らなかつたが、地域づくり・ボランティア意識の啓発になつた。	

ウ 市民の学習ニーズの把握に努め、魅力的で参加しやすい講座を実施します。	市民の学習ニーズを把握するため、意見箱（窓口対応を含む）等を設置し、講座の企画に生かしているか。	意見箱をロビーに設置した。意見の投函は今のところないが、窓口や講座前後の市民との会話から、意見を伺っている	講座開設につながるような意見は特にないが、アンテナを高くし、いろいろな場面で意見徴収を図りたい。
	一時保育を行っている講座を実施しているか。	託児付きの講座を2講座企画したが、利用者は1講座だけだった。（手作りパン教室、計4コマ、ボランティア延べ12人）	託児ボランティア団体の人数減少により、託児を依頼できる条件が厳しくなった。事前の協議・調整を十分にしたい。
エ 世代間交流を促進する講座の開催など、地域コミュニティの醸成を図るための取り組みを行います。	幅広い年齢層が交流できるような講座等を実施しているか。	家庭教育講座「親子で夢中！」は祖父母も可としている。成人講座は年配者の参加が多いが、託児付き講座を設けることで、若年層の参加を促している。	講座の開催曜日・時間を考慮し、若年層が受講しやすい講座を検討したい。
	地域コミュニティの活性化につながるような事業を実施しているか。	自治会や子ども会育成会の会議・行事の場として、施設の貸し出しを行っている。	ロビー及びギャラリーを広く開放し、地域の人々が集い、憩える場として充実させていきたい。

2. 生涯学習活動の場の提供（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 生涯学習に関する活動の中心の場とします。	地域住民に、公民館の目的を周知しているか。	公民館振興計画、公民館運営審議会議事録また、公民館だよりを市ホームページに公開した。	今後も多くの機関への配布等、多くの市民等に周知していきたい。	
	住民の身近な学習・交流の場としての提供や学習相談などを実施しているか。	ロビーにソファ・イス・テーブルを配置し、おしゃべりや打ち合わせなどができるスペースを確保している。団体等の活動後のコミュニティの場となっている。	より気軽に使用できる施設として周知していきたい。	
イ 全ての人に開かれた学習機会・場を提供します。	子どもから高齢者までが参加できる学習の機会、場を提供しているか。	全世代を対象とした講座はない。成人講座は高齢者に偏りがちなため、家庭教育講座や青少年教育講座の数を増やした。	講座ばかりではなく、気軽に使用できる施設としてPRしていきたい。	
	講座等の募集は、広く市民に周知しているか。	3月中旬発行の「生涯学習情報誌エール」、市ホームページ等で周知している。	エールは各戸に配布されているが、自治会加入者のみである。より広く周知していきたい。	
ウ 活動に必要な備品の整備に努めます。	利用者の活動ニーズに即した備品を整備し、台帳を作成しているか。	備品台帳を整備して管理している。館内の活動に対し、利用者に備品を貸出している。	今後は、社会環境の変化を見据え、新たなニーズに対応していきたい。	
エ いつでも気軽に活動でき、人が集まる公民館をめざします。	利用促進のため、講座内容の検討やロビー等の活用に努めているか。	講座内容は、応募状況や実績、講座終了時のアンケートなどを踏まえ、魅力ある講座を企画検討するようにしている。	講座ばかりではなく、気軽に使用できる施設としてPRしていきたい。	

3. 学習情報の提供と学習相談体制の充実（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 地域住民への学習情報提供や学習相談の窓口として対応します。	学習情報は「広報しもつけ」や市ホームページ等に掲載し、提供しているか。	市ホームページに「生涯学習情報誌エール」の内容を掲載した。	追加募集の講座や臨時開催の講座について、広報やホームページを活用していきたい。また、エールが配布されない自治会未加入者やインターネット環境弱者に対する生涯学習情報の提供方法を検討したい。	
	自主グループやサークルの紹介や活動報告を提供しているか。	自主サークル一覧として「生涯学習情報誌エール」に掲載した。また、ロビーに自主サークル紹介をパネル展示している。	エールが配布されない自治会未加入者やインターネット環境弱者に対する生涯学習情報の提供方法を検討したい。	
	資格取得に関することや入学案内情報など、住民にとって有益な民間情報を提供しているか。	ロビーの書類ラック、チラシ掲出カウンター等に掲出している。	分野ごとに掲出場所を工夫し、より見やすいようにしていきたい。	
	学習情報提供や学習相談に対応し、またそれに関する課題を把握し、相談内容を記録しているか。	軽微な問い合わせに対し、現状や対応方法を説明しているが、個別の詳細な相談はなく、記録等には至っていない。	記録簿の作成を検討する。	
イ 学習情報の掲示や資料提供に努めます。	利用者に学習情報やチラシ・ポスター等の資料の提供に努め、見やすく掲示され、整理整頓されているか。	ロビーに掲示パネルや書類ラック等を設置し、見やすく掲示している。	情報の更新に留意し、最新情報の提供に努めたい。	
	期間の過ぎた学習情報は撤去し、常に最新の情報を掲示しているか。	館内巡回時等、随時確認している。	情報の更新に留意し、最新情報の提供に努めたい。	
ウ 情報の収集、提供機能の充実を図ります。	学習に関する地域の情報発信拠点として、市内外の学習情報等を収集し、提供しているか。	市内は各課等との連携、市外は県や他市町、各種団体との連携により学習情報を入手、掲出している。	必要に応じ、インターネット・電話問合せ等により学習情報を入手することもあり、適時対応していきたい。	
	情報の収集と提供機能を強化するため、近隣市町や関係団体と連携・協力体制を図っているか。	他市町の情報誌等を活用し、問い合わせ等を実施した。	明確な連携・協力体制ではないが、県公連や社会教育指導員間のつながりにより、対応している。	

【Ⅱ】活動拠点としての公民館（大項目）

1. 利用団体の育成・活動支援（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 公民館講座などの受講生の自主グループ化を支援します。	受講生の自主グループ化のために、助言や指導などを実施しているか。	成人講座「しの笛体験～魂にひびく音色～」の修了生に助言・指導を行い、自主サークル「篠笛の会」が発足した。	サークル化できそうな講座には、今後も積極的に助言・指導をしていきたい。	
イ 各公民館の自主サークルが交流できる場を提供します。	各公民館の自主サークル相互の交流が図れるように、公民館がコーディネーターとしての役割を果たしているか。	各公民館自主サークルの交流を促すため、交流会の開催に向けた会議を実施した。	公民館交流会は、自主企画・運営を基本とするが、実現に向けて、助言・指導をしていく。	
ウ 自主グループや市民団体の活動を支援します。	自主グループや市民団体の活動に対して、情報や場の提供、学習相談などを実施しているか。	自主サークル等の通常活動による施設貸し出しを行った。 また、自首サークルの会員募集（オカリナ）や発表会（プラスバンド）の告知を支援した。（市広報紙への掲載）	より気軽に使用できる施設としての周知、支援に努めていきたい。	

2. 学習成果の発表の場の提供（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 自主グループや公民館利用者等が学習成果の発表の場として、公民館まつりを開催するにあたり、各世代が参加・見学できるプログラムや運営体制づくりを支援します。	公民館まつりにおいて、自主サークルや公民館利用者等が学習成果を発表できる場を提供しているか。	館内すべてを公民館まつりのために提供した。	今後も公民館まつりの会場として、使い勝手の良い施設を維持したい。	
	公民館まつりの開催にあたり、自主グループや公民館利用者等が運営に参画し、各世代が参加・見学できるプログラムづくりや運営体制づくりの支援をしているか。	公民館まつりに参加する自主サークル・団体が実行委員会を組織し自主的に企画・運営するが、事務局として、会議及びまつりの運営を支援した。	今後も自主性を損なわないような支援を継続していきたい。	
イ 自主グループや公民館利用者等の学習成果の館内発表の場を常時設置します。また、公民館だけでなく、他施設への展示を支援します。	自主グループや公民館利用者等に、館内の発表・展示スペースを提供しているか。	自主サークルの会員募集ポスターを掲示し、自主サークル紹介のパネルを掲示している。	展示形態やスペース、期間について、見やすくなるよう工夫していきたい。	
	自主グループや公民館利用者等に他施設への展示の支援をしているか。	自主サークル等の他施設での活動を紹介するチラシ等を掲示している。	備品の貸出しについて、基準の検討をしていきたい。	

【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館（大項目）

1. 利用団体の協働のまちづくりへの参画支援（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 利用者との協働による公民館運営をめざします。	公民館の運営に市民や利用者の意向（意見）を反映させるための仕組みをつくり、反映されているか。	意見箱の設置や講座終了時のアンケートを実施した。	可能な限り、市民の意見を反映させるよう検討していきたい。	
	公民館の主催事業等の企画、運営、実施に公民館利用者（自主サークル、ボランティア団体等）または市民が参画しているか。	講座、まつり等の企画について、参加者にアンケートを実施して意見を聞き、参考にした。公民館まつりは自主サークル等を中心に実行委員会を組織して、企画・運営に当たった。	公民館利用者からの意見に対し、積極的に検討したい。	
イ 自主企画講座の開催を支援します。	講座開催に向けた必要な助言・指導を行っているか。	自主講座開催に対し、周知・広報及び施設予約等について支援を行う構えでいる。	企画が決まった段階での話であると、広報掲載及び施設使用ができない場合があり、早い段階での行動が必要であることを周知していきたい。	
ウ 自発的な学習活動を援助します。	学習意欲のある利用者が個人あるいはグループでも学習できるように学習情報の提供や学習相談などを実施しているか。	いつでも学習情報の提供や学習相談などを行う構えでいる。	何を目的に、何をしたいかをよく把握し、対応していきたい。	
エ 利用団体同士が交流できるよう支援します。	団体同士をつなげるような役割を果たしているか。	公民館交流会開催に向け、サークルを交え、会議を実施した。	公民館交流会の実現に向け、的確な支援をしていきたい。	
オ 気軽に立ち寄り、情報収集・意見交換などができる自由な交流の場を提供します。	ロビー等、自由スペースの利用促進が積極的に図られているか。	ロビーにソファ・イス・テーブルを配置し、おしゃべりや打ち合わせなどができるスペースを確保している。団体等の活動後のコミュニティの場となっている。また、ロビーや玄関の掲示板上に、ポスター、チラシを掲出した。	ポスターやチラシが多くの人の目に触れるように配置し、多くの情報を提供できている。より気軽に使用できる施設としての周知していきたい。	

2. 学校・家庭・地域の連携支援（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 市生涯学習情報センターと連携し、市内の小中学校、関係機関、各種地域団体が相互に支援しあう体制を強化充実させます。	学校・家庭・地域の相互の支援体制を強化するため、生涯学習情報センターのボランティアバンクを活用しているか。	講座の講師等、他所からの情報入手により、ボランティアバンクの具体的な利用実績はなかった。	バンク登録団体ではないが、市内活動団体の環境問題を考える会や読み聞かせボランティア「らこんて」に講座の講師を依頼した。 今後、ボランティアバンクも積極的な活用を検討したい。	
	学校・家庭・地域が課題や情報等を共有できる体制づくりを行っているか。	南河内地区内の学校、児童館等の施設だより等を掲示し、地元の情報を提供した。	地域の情報のよりよい発信の仕方を検討し、周知に努めていきたい。	
	公民館利用者など地域住民に対し、ボランティアとして学校への参加・参画を呼びかける等の助言を行っているか。	学校行事等への参加の呼びかけはしたが、ボランティア参加等への呼びかけまではしなかった。	まず学校側のニーズ等に関心を持つことを留意していきたい。	
イ 各種指導者や地域コーディネーターの発掘と養成に努めます。	リーダー、コーディネーター養成事業を実施したり、発掘に努めているか。	まちづくり入門講座において、とちぎボランティア NPO センターぼぼらのコーディネーターリーダーから、ボランティア活動のあり方について学んだ。	新たなリーダー等になれる人材発掘につながる講座を検討したい。	
	リーダー、コーディネーターの養成研修や講座の修了者を指導者・助言者として活用しているか。	まちづくり入門講座に参加した修了生からはボランティアは発生せず、人材活用までは至らなかった。	講座修了生への働きかけについて留意していきたい。	
ウ 各種事業・イベントを通して、地域の連帯感を育む活動を支援します。	自治会・コミュニティ・ボランティア団体等に対して、活動相談・場の提供を行っているか。	地元自治会の子ども会育成会等の活動に、施設を提供した。	より気軽に使用できる施設としての周知に努めたい。	

【IV】地域文化創生拠点としての公民館（大項目）

1. 公民館・生涯学習情報の発信（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 学習情報を周知するため、公民館だよりを発行します。	公民館だよりを定期的に発行しているか。 （4回／年）	公民館だより 4号(4月)・5号(9月)・6号(1月)・7号(3月)を発行した。	今後も多くの機関へ配布し、多くの市民等に周知していきたい。	
イ 公民館事業の紹介や活動団体のPR等をするため、市ホームページを充実します。	事業の参加申し込み、活動団体のPR等をインターネットで紹介しているか。	講座情報、施設予約等を市ホームページに掲載している。	現在の利用者はもとより新規利用者にも浸透されるよう周知していきたい。	
	ホームページを定期的に更新し、種々の情報提供を実施しているか。	ホームページに掲載している講座・施設等の公民館情報や公民館だより、イベントカレンダー(公民館まつり)を、随時更新した。	今後はもっといろいろな事業を掲載していきたい。	
ウ 学習情報等の市民への周知徹底に努め、積極的な参加促進を図ります。	学習情報等は「エール」へ網羅しているか。	公民館関連の情報は、隈なく掲載している。	各戸に配布されていることが浸透してきている。しかしながら、自治会外の方への対応にはネット等を推進していきたい。	
	参加者の少ない講座等に、追加募集などの必要な措置を講じているか。	青少年教育講座の詳細案内チラシを近隣小学校へ配布した。	学校でチラシを配布してもらい良かったと、アンケートの回答が多かった。応募人数も多く、チラシの個別配布の効果を大変感じた。	
	関係団体等と連携し、情報提供に努めているか。	チラシ、ポスター等を掲示し、各館、各課等と連携して情報収集を行った。	適時最新情報を入手し、タイムリーな情報提供に努めたい。	

2. 施設の適正な維持管理と運営 (中項目)

南河内東公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 快適な学習環境を整備します。	館内のインターネットを使用できる環境を整備しているか。	無料 Wi-Fi の使用ができる環境を整備している。	利用者の中には、サークル活動にも利用されている。	
	館内は、清掃が行き届いているか。	シルバー人材センター委託による日常清掃のほか、職員によるロビー等の清掃を実施している。	委託清掃日以外の日の来館者による汚れにも対応を考慮したい。	
	利用者に配慮した室内の温度・照度は保たれているか。	施設建設当時の設備・器具類では、ロビー等の空調・照明は劣るが、各部屋個々に照明・空調は調整できるため、温度・照度は保たれている。	ロビーの水銀灯や空調設備の不具合は、改修に多額の費用が掛かるため、施設整備計画を見直し、できるだけ早期の改修を検討したい。	
イ 利用者の安全性・快適性に配慮した維持管理を行います。 また、長期的には公民館に求められる施設サービスに応じた規模・機能を踏まえ、他の公共施設との調整を図り、計画的な対策を実施していきます。	維持管理マニュアルを作成し、施設・設備の点検、整備を実施しているか。また、必要な各種修繕工事は実施されているか。	マニュアルや消防計画等に基づき、日常、施設の確認をしている。施設の修繕は、随時対応している。	突発的な修繕もあるが、適時対応し、利用者の不便にならないよう努めた。今後も突発的な案件に遅れないよう対応していきたい。	
	公民館改修計画は策定されているか。	策定してある。	施設の老朽化に伴い、ロビーの水銀灯や空調設備の不具合、雨漏りなどが進んでいる。施設整備計画を見直し、できるだけ早期の改修を検討したい。	
	受動喫煙対策はなされているか。	敷地内禁煙を実施している。	敷地内禁煙を周知徹底していきたい。	
	高齢者や障がい者への配慮がなされているか。	ホール玄関前にスロープがあり、玄関は自動ドア、エレベーターが設置されており各階のフロアは段差がなく、バリアフリーは進んでいる。	各階の男女トイレそれぞれに洋式トイレが1か所ずつあるが、全部の洋式化や自動照明、暖房便座等への改修を検討したい。	
ウ 市民が利用しやすいシステムづくりに努めます	施設の利用方法に利用者は満足しているか。	施設の利用方法に対する苦情等はなく、現行を理解してくれているようである。	本予約の夜間業務(シルバー人材委託)の検討をしていきたい。	
	施設予約マニュアルを作成しているか。また、必要に応じて随時見直し等を行っているか。	施設予約システムの利用の手引きに操作ガイドを整備した。	必要に応じ、随時見直しを行っている。	
	インターネットからの施設予約促進を図っているか。	新規登録者のみならず、現利用者に対してもインターネット予約の使用方法を説明した。	インターネット予約が増加傾向にあり、仮予約の乱用を防ぐよう啓発していきたい。	

3. 地域の特色を活かした活動の充実 (中項目)

南河内東公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 小学校・中学校と連携し、児童・生徒が交流できるよう支援します。	小中学校と連携・協力した事業を実施しているか。	公民館まつりのオープニングイベントで地元吉田東小学校の鼓笛隊に演奏してもらった。 また、各学校の学校だよりを掲示し、学校事業の広報周知に協力している。	多くの利用者が掲示板を見ており、地域の小中学校の情報発信ができています。 今後は学校の独自性を損なわず、公民館としてどのような連携事業が実施できるか検討していきたい。	
イ 地域資源を活かし、故郷に愛着をもてる事業を展開します。	地域資源 (文化財や伝統文化等、人材も含む) の把握に努め、地域資源に触れることのできる事業を実施しているか。	成人講座「東の飛鳥」において、市にまつわる歴史の話から歴史雑学まで幅広く学んだ。	下野の歴史探険を行うサークル等に発展できるような講座づくりを行いたい。	
	地域の団体や企業、NPO等、地域の人たちが参画できるような事業を実施しているか。	公民館まつりには、多くの地域の個人・法人 (日新けあパレス) が参加した。	公的な施設のため、企業との連携が難しいが、どのような参画が可能か検討していきたい。	
ウ 各館の地域性を活かした特色ある事業を実施していきます。	地域が持っている、良い地域性や特色が事業に反映されているか。	当館の特色として、陶芸窯があることとパン作りの器具類が備わっていることがあり、これらを活用した講座を例年実施している。	当公民館の特色としての講座から、これまでも多くの自主サークルが誕生している。新規の受講生がたくさん来てもらえるようなPRに努めたい。	

4. 職員の資質向上（中項目）

南河内東公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 職員の資質を高めるため、職員研修を計画的に行います。	国、県、協議会等が主催する、種々の外部研修会に参加し、専門性のある職員としての資質の向上を図っているか。	社会教育指導員が、県及び郡の各種研修に参加した。 今年度の全国公民館研究大会は栃木県での開催であり、下野市は平成30年度に実施した「地域元気プログラム」の活用事例を発表し、聴講者・事務局として指導員が参加した。	県教育委員会が作成した「地域元気プログラム」を活用した講座を実施し、成果が上がってきている。今後も同プログラムの有効活用を検討したい。	
	内部研修等を実施し、職員の資質向上、共通理解は図られているか。	館長は1～2か月に1回、生涯学習文化課と館長会議を、また、全社会教育指導員と年2回（4月、7月）開催し、共通理解を図った。	共通理解のもと、講座等公民館事業のスムーズな運営に繋がっている。	
イ 公民館利用者が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めます。	利用者が気軽に立ち寄り、交流できるスペースを設置しているか。	ロビーにソファ及びイス、テーブルを配置し、打ち合わせやおしゃべりなどができるスペースとした。	活動終了後の自主サークルが休憩やおしゃべりをしたり、チラシ等の情報を求める親子等が立ち寄ったりしている。今後は、近隣の小学生の憩いの場や学習ブースの場所としての活用を検討していきたい。	
	地域住民からの問い合わせ（苦情）等について、職員が内容を共有し、迅速かつ適切に対応しているか。	問合せ等があった場合は、すぐに内容の確認をし、共有するよう心掛けた。 担当者不在の場合や内容が不明な場合は即答せず、相手の連絡先を伺うか、問合せ先をお知らせし、ホワイトボードメモ書き等により内容を共有して、後日、担当者から連絡するように対応している。	社会教育指導員は月13日勤務体制のため全員がそろう日は少ないが、情報の共有を図って対応するよう努めている。今後も、事務局の情報共有に努めたい。	
	公民館の明るい雰囲気づくりに努めているか。	いつも元気に、明るく、対応するよう全員が心掛けている。	アットホームな雰囲気の公民館として、今後も市民に親しまれるよう留意していきたい。	
ウ 公民館の適正な運営及び活性化を図るため職員の確保補充に努めます。	公民館の運営方針を明確にしているか。	平成30年3月に「公民館振興計画」を策定し、それに基づき、運営を行っている。	公民館振興計画にある公民館の運営方針等を市民へ周知していきたい。	
	評価の結果を市民に対して公表しているか。	公民館評価は令和元年度が初めての試みであったため、平成30年度の評価は公表していない。	初めての評価であったが、委員各位からの評価、意見は、今後の管理・運営に大変参考になるものであった。	
	公民館職員が、公民館の目標を理解し、目標達成のために必要な人員を確保に努めているか。	現在勤務している職員は、「公民館振興計画」を熟知し、対応している。	館長及び指導員の資質向上及び地域人材の発掘に努めたい。	

南河内東公民館

内部評価	全体評価(大項目の達成度)
実績・成果 (目標)	<p>【Ⅰ】学習拠点としての公民館 概ね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 講座は、平成 30 年度の 13 講座から 16 講座に数を伸ばし、多くの市民が受講した。 広い年代層に受講してもらいたいため、セカンドステージ支援講座は企画せず、成人講座を増やし、一部は託児付き講座として実施し、若年層の参加に配慮した。家庭教育講座や青少年教育講座の数を増やし、子どもたちや親子の受講者数の増加を図った。 特に青少年教育講座「未来アカデミア」は、【医学コース】が自治医科大学メディカルシミュレーションセンターに、【科学コース】が小山高専物質工学科に講師を依頼し、会場の提供、カリキュラムの作成、体験学習の実践をしてきて、大人気の講座となった。 また、ロビーの掲示パネル、書類ラック、チラシ掲出カウンターなどにより、学習情報やイベント情報などの提供に努め、講座の様子や自主サークルの紹介、昨年の公民館まつりの様子を掲示し、公民館事業や生涯学習の啓発を行った。</p>
	<p>【Ⅱ】活動拠点としての公民館 概ね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 登録自主サークルは、平成 30 年度には 26 団体の登録であったが、31 年度(令和元年度)当初には 28 団体であった。講座の修了生に働きかけ、サークルの立ち上げを促した結果、今年度は 1 件の新規自主サークルが誕生した。しかし、高齢化が進み、サークルとしての活動・維持が難しくなっているサークルが今後生じることが予想され、市民の活動の母体であるサークルの支援内容を検討する必要があると感じている。 公民館まつりは参加サークル 13 団体が実行委員会を組織して、自ら企画・運営した。自主サークル以外の地域の参加団体等もあり、地域の振興に貢献できた。市民活動・サークル活動の発表の場として重要なイベントである公民館まつりが、今後も継続開催し、地域をより盛り上げていけるよう支援していく。</p>
	<p>【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館 あまり達成できなかった。</p> <p>・特出すべき点 学校支援ボランティアや生涯学習ボランティアの登録者等による協働のまちづくりに直結するような事業はなく、今後の大きな課題である。 また、「公民館振興計画」に記載されている公民館交流会について始動し、令和 2 年度以降の開催に向け、各館自主サークル間の話し合いを開催した。今後も自主サークルを支援して交流会を推進していき、地域や市の活性化に結び付けたい。</p>
	<p>【Ⅳ】地域文化創生拠点としての公民館 概ね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 今年初の試みとして、公民館まつりに地元吉田東小学校の鼓管隊をオープニングイベントのゲストに呼び、演奏を披露してもらった。その後、展示部門の出展団体に子ども向けの体験コーナーを実施してもらい、多くの子どもたちが各サークルと触れ合った。小規模ならではの地域に密着したアットホームな公民館らしさがよく出て、大変素晴らしい体験となった。 市にまつわる歴史の話から歴史雑学まで幅広く学ぶ講座を、成人講座「東の飛鳥」として実施した。南河内東公民館の特性として、陶芸窯があることとパン作りの器具類が備わっていることがあり、これらを活用した講座を例年実施して好評を得ており、リピーターばかりではなく、新規の受講生の確保に寄与している。 今年度の第 41 回全国公民館研究集会・第 58 回関東甲信越静公民館研究大会において、県が作成した「地域元気プログラム」を活用した研修会の様子を事例発表し、全国の公民館事業実践者に本市の生涯学習・公民館事業の取り組み・成果を発信した。同プログラムを取り入れた公民館講座も実施し、新たな成果が上がっている。 公民館だよりは計画どおり 4 刊(4～7号)を発行した。</p>

全体として

令和元年度は「下野市公民館振興計画」の2年目であり、評価マニュアルに基づき公民館運営を改めて見直すことになり、職員も公民館を客観的に把握する機会となった。評価結果（総評）は次年度の公民館事業に活かし、今後の地域の活性化につなげていきたい。

南河内東公民館は、あり方検討の時期に来ており、生涯学習情報センターや南河内公民館といった関連公共施設と併せてあり方を検証し、当面存続する方向で検討している。当館の改修計画は、策定の時期から時間が経過し、老朽化に伴う不都合が新たに生じていることから、今後、改修計画の見直しを行う。

令和2年度は第2次「公民館振興計画」策定(令和3年3月策定・5カ年計画)を行い、令和3年度以降の公民館運営方針を決定する予定である。

南河内東公民館

外部評価	大項目	大項目に関する意見(各項目ごと)
公民館 運営審議会 委員	【Ⅰ】学習拠点としての公民館	
	【Ⅱ】活動拠点としての公民館	
	【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館	
	【Ⅳ】地域文化創生拠点としての公民館	
【全体に関する意見等】		

全公民館共通

外部評価	大項目	大項目に関する意見(各項目ごと)
公民館 運営審議会 委員	【Ⅰ】学習拠点としての公民館	
	【Ⅱ】活動拠点としての公民館	
	【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館	
	【Ⅳ】地域文化創生拠点としての公民館	
【全体に関する意見等】		